



9月号

三木高大

自治会新聞

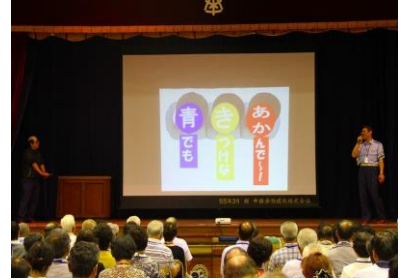
発行 三木市高齢者大学学生自治会
 発行責任者 自治会会長 三木 清
 編集担当者 1年1班 八木 義明
 1年3班 岩瀬 源太郎
 発行日 平成26年9月9日

No. 103

7月の教養講座から

テーマ：高齢者の交通安全
 講師：兵庫県警察本部スタウス隊

7月15日、兵庫県警察本部から、高齢者交通安全教育隊（通称：スタウス隊）に来て頂いて、高齢者の交通事故の実態や交通事故に遭わないための留意事項について、コントを交えながら、映像による交通安全と歩行システムを使用した実技の講習を受けました。



65歳以上の高齢者に係わる交通事故は、全体の半数近くを占めており、特に、道路の横断中や自宅から500m以内で多く発生しているそうです。

交差点を横断する時は、「青でも、気（黄）い付けな、あか（赤）んでえー」と己に言い聞かせて、必ず止まって「右・左・右」の安全を確認し、「車が見えたら待つ」ことを習慣づけたいものです。夜間の外出は、明るく白い服装や、反射材・懐中電灯の活用も忘れて、自分の姿を見せて存在をアピールすることも大切です。

いつもの道でも、必ず「止まる。見る。待つ」を励行して、加害者にも被害者にもならないように、自分の身は自分で守りましょう。
 1年3班 板東 和己

意見発表会の報告

メインテーマの「学びと生きがい」に沿って、各学年の代表7名が熱弁

7月30日、菟本市長や松本教育長をはじめ多数の来賓が参列されるなか、今年も7名の方の力強く、有意義な意見を拝聴することができました。

今年のメインテーマ「学びと生きがい」に沿って、発表者の素晴らしい体験に裏付けられた話の内容に、学生の皆さん全員が感動したのではないのでしょうか。つつい私との生きざまを比べてみて、発表者の皆さんが歩んで来られた素晴らしい人生に敬服し、さらなる飛躍を期待します。



【意見発表の皆さん】

数か月前から構想を練って、原稿の作成や発表時間の調整など、大変な努力を重ねられた7名の方々に、もう一度心から拍手を送る次第です。ご苦労様でした。

10月31日に加古川市で開催される「東・北播磨学ぶ高齢者の集い」に、山田一也さんが代表として参加されます。

	個別テーマ	発表者	
1	私の生きがい「挑戦」	1年1班	大西美知子
2	継続は力なり	2年2班	山田一也
3	小さなジャンプが世界を広げる	4年4班	西村公男
4	カメラに夢中	4年3班	廣田隆二
5	迷って振ったサイコロは“当たり”	3年5班	宮本初美
6	「福祉を見つづけ50年」を糧に！	3年2班	石原修
7	私の生きがい“妻と孫”	1年4班	岩原保

自治会会長 三木 清

体育祭の案内

と き：10月3日（金）08：30から
と ころ：三木勤労者体育センター

恒例となった第23回体育祭は、いよいよ10月3日に三木勤労者体育センターで開催されます。

大学、大学院、学友会の参加によって15種目の競技と応援合戦が繰り広げられます。来賓の方々にも、体育祭の楽しさをより強く共有していただく意味で、新しい試みとして競技参加を1種目増やして2種目とします。

更に今回は、競技用具の修理や更新と共に、これまでの経験を踏まえて会場設備の検証も行っており、放送設備のCD化の実現について市側に働きかけています。



【 昨 年 の 応 援 風 景 】

暑い8月中も、息の合った競技練習と創意と工夫を凝らした応援のアイデアを結集し、本番に向けて各学年の熱い準備が行われています。

私たち実行委員会では、参加される皆さんにとって楽しい一日となるように、より良いお膳立てができるようにと願って、準備を進めているところです。

体育祭実行委員長 3年5班 宮脇 征史

地域活動報告

みっきい夏まつりと清掃ボランティア

今年のみっきい夏まつりは、特別イベントとして東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードが華を添えるということで、3万人以上の入場者があったそうです。

当大学もステージ演舞に大道芸クラブと太極拳クラブ、総踊りには民謡踊りクラブが出演し、各部員が暑い中汗だくだくで熱演されました。

翌7月27日（日）には、早朝7時から90名近い高大生が清掃ボランティアに参加して、夏まつりの後片付け作業を行いました。暑い最中に、本当にご苦労様でした。いつもながら高大から大勢のボランティアの参加があり、市関係者も大いに助かり、ありがたいことだと感謝されました。



地域の子供たちとキャンプで交流



8月5日（火）と6日（水）の2日間、細川町・口吉川町の小・中学生32名による交流キャンプに、当大学と大学院から約40名が地域活動として参加しました。

グランドゴルフ・水墨画・大道芸・クッククラブの部員が子供たちの体験プログラムで指導をし、写真クラブの部員も、それぞれの場面で写真を撮りながら、交流を深めるとともに一緒になって楽しんだイベントでした。

大学の登校日とは違って、子供たちの大きな歓声やすばしこい動きに元気をもらいながら過ごした夏休みの一コマでした。各クラブの皆さんは暑い中ご苦労様でした。

自治会会長 三木 清

学年通信（卒業旅行）

6月30日～7月2日
北海道（道南地方）

6月30日より2泊3日、神戸空港から新千歳空港へ。梅雨の最中といえどもここは北海道、爽やかな空気が50名を歓迎している様でした。

早速バスは函館へ、白老で昼食、五稜郭公園を散策し湯の川温泉へ。風呂にゆっくり浸かり、疲れと汗を洗い流し宴会場へ。挨拶もそこそこに練習を重ねた班対抗かくし芸大会の始まりで【アイヌむらおさ村長の像】す。趣向を凝らした振付・衣装・歌・踊り。最初はおとなしく観ていたものの、酒と舞台の演技に酔うにつれ、他班の演技にまで飛び入り参加。2時間程の宴があっというまに過ぎ、親睦の輪が大きく広がりました。



翌日は函館の街を散策、大沼公園で食事をして、宿泊地の洞爺湖へ。露天風呂から湖を眺めた後、カラオケ大会へ。各班2組の出場、バックダンサーの演技に昨夜を思い出し大爆笑。名残り惜しいが、宴も終了。湖面から打ち上がる花火を見ながらの反省会。最終日はサイロ展望台より湖の景色を眺望、熊牧場のある昭和新山で昼食。アイヌ民族博物館を見学して新千歳空港へ、買い忘れた土産を買って、帰路についた。

4年4班 磯 忠重

人物紹介

4年1班 原田 建夫 氏

気象予報士でもある 原田氏は陶芸の匠

小学5年生の頃、豊岡測候所の見学をきっかけに、気象業務の仕事に就かれ、現在は気象予報士の傍ら、趣味の陶芸に余念がない。

陶芸を始められたのは、緑が丘に居を構えて間もない35歳の頃。自治会の広報紙に掲載された「陶芸指導の案内」に触発され、陶芸家の指導を受けてこの世界に。

転勤での中断時期もあったが、定年退職の2年後に運よく「いなみ野学園陶芸学科」に入学されて4年間の陶芸修行、卒業後は県の「陶芸の村」に週2日通い、現在も続けられている。

陶芸は、芸術性や美的感覚と斬新さが要求される。五感を研ぎ澄ませて、形状・色彩・模様等出来上がりをイメージして作陶に取り組む。先ずは、土選びからスタート。造形・釉薬・絵付・焼成温度等各段階でのプロセスに加えて、酸化焼成や還元焼成等の化学知識も要求される。

経験を積み重ねても、なかなか思いどおり

にいかないことが多い。反面、イメージどおりやそれ以上の物が出て来た時は、窯変のお蔭と喜びはひとしお。それが陶芸の難しさであり、醍醐味でもある。

拝見した数々の作品は、趣味の域を超越した素晴らしい物ばかり。作品は、近郊の市展等に出展して度々入選。入賞を目指して「これからも創作を続ける」と意欲満々。

「最近、素晴らしい楽茶碗が焼けた。『闇に螢』と命名して家宝にする」と、相好を崩され、その喜びがひしと伝わってきた。

温厚実直なお人柄やユーモアあふれるお話し振りに、ついつい陶芸の世界へと引きずり込まれた。

みっきい夏祭りの市民パレードや大道芸クラブの舞台出演もされて、学びと生きがいの範として幾久しくお導きをいただきたいと強く感じ、ますますのご活躍を願ってやまない。

《取材：編集委員 3年2班 石原 修》



クラブ紹介

書道クラブ

〔ストレッチで体をほぐし、精神をリラックスさせて臨書〕

書道クラブは、在校生OB合わせて25名で、練習は第一、第三木曜日の9時30分から12時までを原則としています。

当クラブの特徴は、まずストレッチ体操を行い、体の筋肉をほぐすのと併せて精神面もリラックスさせてから、練習に取り組むこととしており、つづいて書道に関する基礎知識（書の歴史、用具、筆の持ち方・運び方等）の向上を図る目的で、毎回30分程度、福永美雪先生の講義を受けています。



活動内容は、学内では時節ごとに1Fロビーでの展示、学外活動として6月に緑が丘「さんさんギャラリー展」、10月には「東・北播磨学ぶ高齢者の集い」、並びに神戸・原田の森ギャラリーでの「全国シルバー書道展」等への出展、そのほか各所で催される展示会にも積極的に参加しています。

練習は研修室2で行っていますので、どうぞのぞきにきてください。
書道クラブ部長 3年1班 木場 篁三

ゴルフクラブ

〔歳末チャリティを兼ねて、年6回の大会競技を開催〕

昔、バブル最盛期の頃は、お金持ちの遊び、つまり道楽と言われておりましたゴルフも、1990年のバブル崩壊後は数千万円もした会員権が紙くず同然となり、数多くのゴルフ場が倒産して経営者が変わりました。

今では、プレーヤー集客を優先して、一流のメンバーコースでもプレー料金がバブル期の半額以下となり食事つきでも8千円～1万円程度で優雅に1日を過ごす事が出来、今や庶民のスポーツに生まれ変わっています。

その反面、マナーの悪い、ルールの判らないプレーヤーが増えて、競技の進行に支障をきたしているのが現状です。

当クラブ（交友会）では、市内及び周辺の名門6コースを選定して、前期の4～6月と後期の9～11月に、大会競技を開催しています。大会の開催がない7・8月は夏休み、1～3月は冬休みとして、自主練習に励んでいます。

部員は、高大OBの方が約2/3を占めており、先輩方との歴史を重ね、交流を深める事も活動の目的としています。

歳末には、その年の大会競技に参加した延べ人数分×一人当たり100円を、三木市社会福祉協議会に寄付をして、社会福祉活動にも一役買っています。

★ 部員数：71名（男性54名 女性17名）（OB45名、在校生26名）

★ 会費：年会費1000円、入会金1000円

ゴルフクラブ部長 4年5班 森 重一

